

< 学校長より >

本校は、昭和15年1月に「東京府東京市馬込第三尋常小学校」として誕生しました。現在の馬込小学校から別れてきた児童を含め、12学級706名でスタートしたそうです。翌年、昭和16年3月1日に第1回開校記念式が行われ、この日が開校記念日となりました。昭和16年4月1日に「東京府東京市馬込第三国民学校」と校名変更し、「東京都馬込第三国民学校」を経て、昭和22年4月1日に現在の「大田区立馬込第三小学校」となりました。また、校歌は、開校10周年の記念として昭和25年3月1日に制定されました。作詞は、当時馬込文士村と呼ばれたこの地域に住んでいた室生犀星先生によるものです。その校歌に出てくる「魚（いお）」から名付けられた「いおの森」が、開校50周年を記念して、本校敷地内に作られました。また、開校60周年の記念として資料室「いおの部屋」が開設され、室生犀星先生直筆の校歌の原稿などが展示されています。また、平成13年3月31日には「犀星先生の離れ」が「いおの森」に移設され、今でも茶道教室などで使わせていただいています。

このように、「文化の香る坂道のまち馬込」で、地域の方々から大切にされている本校は、令和元年度に開校80周年を迎えました。80周年の節目に、本校の子供たちは「ハッピープロジェクト」と称して話し合い、様々な取組をしました。その一つが周年キャラクターの誕生です。全校児童からオリジナルキャラクターを募集し、その中から全校投票で選ばれたのが「ウマサス」です。このような本校の子供たちの主体的な活動は、校歌の一節にある「我等何を記すべき 我等何を学ぶべき」を実践していると誇らしく思います。これまでの馬込第三小学校のすばらしい伝統をしっかりと受け継いでいます。

そして、教職員が「チーム馬三」を合言葉に、一丸となって「自分たちの学校」の意識をもって、教育目標「勉強大好き 馬三の子、友達大好き 馬三の子、運動大好き 馬三の子」の具現化を目指し、学校運営に主体的にかかわるようにしてまいります。

令和4年4月1日、本校に学校運営協議会が設置され、大田区コミュニティ・スクールとしての学校運営が始まりました。これまでも本校では、「地域の宝」である子供たちのために、保護者・地域の皆様と力を合わせて、教育活動を進めてきました。その上に、今回の学校運営協議会設置により、定期的に会議の場が設けられ、さらに地域の声を活かすことができるようになります。保護者・地域の皆様が学校運営に当事者として参画することによって、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

校舎改築も並行して進めることとなりますが、今年度も馬込第三小学校の歴史に新たな1ページを綴っていきたいと考えています。これまでと変わらぬ御支援と御協力をいただきますよう、お願いいたします。

令和4年4月

大田区立馬込第三小学校 第23代校長 東山 良彦

< 目指す学校像 >

地域に愛され、地域とともに歩む学校

- 子供の学びを大切にする学校
- 「ありがとう」があふれる学校
- 失敗が許され、チャレンジする意欲がわく学校
- 明るく活気がある学校

